

## 助産師が行う「性（生）の楽習講座」の実施（案）

### 1 目的

次世代を担う児童や生徒が、生命の尊さや家庭の意義などの理解がさらに深まるよう、教育委員会と連携し、生命誕生の現場に携わる助産師による「性（生）の楽習講座」を実施する。

### 2 講座の内容

- ・助産師の仕事
- ・自分たちが生まれてきたことを知る（あなたが生まれてみんなが喜んだ“大切ないのち”）
- ・これからの命を見つめる（受け継がれていく“いのち”のつながり）
- ・デートDV
- ・将来の夢 等

### 3 講座実施の対象

○県内の保育所・幼稚園、小学校、中学校、高等学校

### 4 実施方法

○県助産師会への業務委託により実施（委託者：県（県健康福祉部青少年家庭課））

- ・委託額：¥4,000 千円（財源：地域少子化対策強化交付金／内閣府）
- ・予定講座数：150 講座／年間（平成 26 年度）

### 5 平成 27 年度以降の展開（案）

- ・県子ども・子育て支援推進会議で策定する「県子ども・子育て支援事業支援計画」の中の施策・事業として位置づけるなど、今後も継続した取り組みの推進を検討。



助産師による講義「命の誕生まで」



助産師による寸劇「出産の喜び」



妊娠疑似体験



「受け継がれていく命のつながり」の説明